

第7学年 国語科年間指導計画及び評価

年間合計時数 (141)

教科目標	趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価規準 (評価方法)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元名	単元目標						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを旨とする。	言葉に出会うために 5	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたしなから、言葉がもつ価値に気付いたりしているとともに、進んで読書をし、言葉適切に使おうとしている。	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたしなから、言葉がもつ価値に気付いたりしているとともに、進んで読書をし、言葉適切に使おうとしている。	
1 学期	言葉に出会うために 5 図書室探検 6 あらすじを捉える 10 わかりやすく説明しよう 3 段落の役割 8 ミニプレゼンテーションに挑戦 5 ☆描写を学ぶ 5 問いを立てて考える 10 構成や描写を工夫して書く 15 作品のよさを語る 7 言葉の単位の組み立て 9 比喩表現を学ぶ 5	中学校での国語学習の見直しを持つ。音声の動きや仕組みについて、理解を深め考えた内容を表現することができる。 図書室利用の基礎知識を学び、ラベルの意味や、情報分類・整理・ナンバリングの仕方を理解することができる。(読書活動)聞き手を意識しながら、発表の仕方を工夫することができる。 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 書く内容の中心が明確になるように「五感」を用いて文章を書くことができる。 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えられる。 場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。 日本語の現代文法における言葉の単位と文の組み立てについて学び、文の成分を理解することができる。 比喩などの表現技法の技法を理解し使うことができる。	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたしなから、言葉がもつ価値に気付いたりしているとともに、進んで読書をし、言葉適切に使おうとしている。	
2 学期	竹取物語 6 ☆故事成語 10 自分を見つめる 6 質問力を鍛える 7 学びを振り返る 5 ☆書写 20	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉え、考えたことなどを伝え合うことができる。 本や資料から文章を引用して説明するなど、事実やそれを基に考えたことをまとめて発表することができる。(国際理解) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするることができる。 会話の中で話の内容を捉え、適切な質問をすることができる。 学んだ内容をまとめ、わかりやすく伝えるように表現することができる。 点画の書き方と字形の整え方を理解して書くことができる。 楷書の書き方を理解し書くことができる。 行書を書く時の特徴的な動きを理解して書くことができる。	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたしなから、言葉がもつ価値に気付いたりしているとともに、進んで読書をし、言葉適切に使おうとしている。	
3 学期	図書室探検 6 あらすじを捉える 10 わかりやすく説明しよう 3 段落の役割 8 ミニプレゼンテーションに挑戦 5 ☆描写を学ぶ 5 問いを立てて考える 10 構成や描写を工夫して書く 15 作品のよさを語る 7 言葉の単位の組み立て 9 比喩表現を学ぶ 5	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたしなから、言葉がもつ価値に気付いたりしているとともに、進んで読書をし、言葉適切に使おうとしている。		
通年	図書室探検 6 あらすじを捉える 10 わかりやすく説明しよう 3 段落の役割 8 ミニプレゼンテーションに挑戦 5 ☆描写を学ぶ 5 問いを立てて考える 10 構成や描写を工夫して書く 15 作品のよさを語る 7 言葉の単位の組み立て 9 比喩表現を学ぶ 5	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたしなから、言葉がもつ価値に気付いたりしているとともに、進んで読書をし、言葉適切に使おうとしている。		
主な評価方法	①学習姿勢【取り組み態度・活動の様子・観察・グループ活動】 ②授業ノート・メモ欄【板書内容の記入・メモ欄の充実】	③パフォーマンス【作文・小論文・発表・コメント・音読・暗唱・硬筆・毛筆】 ④ペーパーテスト【小テスト・中間考査・期末考査】 ⑤提出物【プリント・ワーク・漢字ノート等】	③パフォーマンス【作文・小論文・発表・コメント・音読・暗唱・硬筆・毛筆】 ④ペーパーテスト【小テスト・中間考査・期末考査】 ⑤提出物【プリント・ワーク・漢字ノート等】	③パフォーマンス【作文・小論文・発表・コメント・音読・暗唱・硬筆・毛筆】 ④ペーパーテスト【小テスト・中間考査・期末考査】 ⑤提出物【プリント・ワーク・漢字ノート等】	③パフォーマンス【作文・小論文・発表・コメント・音読・暗唱・硬筆・毛筆】 ④ペーパーテスト【小テスト・中間考査・期末考査】 ⑤提出物【プリント・ワーク・漢字ノート等】		
アドバイス	授業の取組について ノートのメモ欄を有効活用して下さい。メモ欄の充実には評価材料のノート点にもつながります。また、定期考査の点数アップにもつながります。 話し合いや発表活動に主体的に参加して下さい。自分の頭で考えること、他者の発言から考えを深めることは学習の深化につながる大切な作業です。	定期テスト前の取り組みについて ・授業用ノートは授業の記録です。メモ欄に書いたことも含めてしっかり確認しておきましょう。 ・国語のワークに取り組みしましょう。 ・作者名や作品名は漢字で書けるようにしておきましょう。 ・テスト前にテストの質問コーナーを設けます。わからないところがあるままテストに臨むことのないようにしましょう。	定期テスト前の取り組みについて ・授業用ノートは授業の記録です。メモ欄に書いたことも含めてしっかり確認しておきましょう。 ・国語のワークに取り組みしましょう。 ・作者名や作品名は漢字で書けるようにしておきましょう。 ・テスト前にテストの質問コーナーを設けます。わからないところがあるままテストに臨むことのないようにしましょう。	定期テスト前の取り組みについて ・授業用ノートは授業の記録です。メモ欄に書いたことも含めてしっかり確認しておきましょう。 ・国語のワークに取り組みしましょう。 ・作者名や作品名は漢字で書けるようにしておきましょう。 ・テスト前にテストの質問コーナーを設けます。わからないところがあるままテストに臨むことのないようにしましょう。	家庭学習の進め方について ・毎週一回提出の漢字ノートを忘れずに出すようにしてください。覚えるのが難しい漢字は規定回数以上練習してもOKです。 ・読書も家庭学習です。漫画や図鑑等も知識を蓄えるためには必要ですが、基本的には活字の本を読みましょう。		

第7学年 数学科年間指導計画及び評価

年間合計時数 (141)

単元名 時間数	単元目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価標準 (評価方法)	
					知識・技能	思考・判断・表現
☆整数の性質 5	自然数、素数、素因数分解の仕組みを理解している。 自然数、素数、素因数分解の一貫性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 ①②③④	正の数と負の数、文字を用いた式と1元1次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理、法則などを理解している。 (2)数学を活用して現象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし、現象を数学的に考察する力、数学的な考察を振り返って評価を改善し、よりよい学習態度を養う。	自然数をいくつかの数の積で表すことにより、素数の性質を見いだすことができる。 ①②③④	自然数をいくつかの数の積で表すことにより、素数の性質を見いだすことができる。 ①②③④	主体的に学習に取り組む態度	
☆正負の数 28	正の数と負の数の必要性と意味、四則計算を理解し、具体的な場面で正の数と負の数の性質や関係性を活用することができる力を養う。	正負の数の必要性と意味を具体的な場面で結び付けて理解している。 正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 正負の数の四則計算をすることができる。 ①②③④	正負の数の必要性と意味を具体的な場面で結び付けて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ①②③④	正負の数の必要性と意味を考えた上で、正負の数の四則計算の方法を考察し表現している。 正負の数の四則計算の可能性について、正負の数の性質や関係性を活用して、具体的な場面や現象を考察し表現することができる。 ①②③④	正負の数の必要性と意味を考えた上で、正負の数の四則計算の方法を考察し表現している。 正負の数の四則計算の可能性について、正負の数の性質や関係性を活用して、具体的な場面や現象を考察し表現することができる。 ①②③④	
☆文字と式 20	文字を用いた式と1次方程式の関係を理解し、具体的な場面で文字を用いた式で問題を解決することができる力を養う。	文字を用いた式と1次方程式の関係を理解し、具体的な場面で文字を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	文字を用いた式と1次方程式の関係を理解し、具体的な場面で文字を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	文字を用いた式と1次方程式の関係を理解し、具体的な場面で文字を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	文字を用いた式と1次方程式の関係を理解し、具体的な場面で文字を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	
☆方程式 17	1元1次方程式の必要性と意味、具体的な場面で活用することができる力を養う。	方程式の必要性と意味を理解している。 方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 方程式を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	方程式の必要性と意味を理解している。 方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 方程式を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	方程式の必要性と意味を理解している。 方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 方程式を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	方程式の必要性と意味を理解している。 方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 方程式を用いた式で問題を解決することができる力を養う。 ①②③④	
☆比例と反比例 23	比例と反比例の関係を理解し、具体的な場面で比例と反比例の性質や関係性を活用することができる力を養う。	比例と反比例の関係を理解し、具体的な場面で比例と反比例の性質や関係性を活用することができる力を養う。 ①②③④	比例と反比例の関係を理解し、具体的な場面で比例と反比例の性質や関係性を活用することができる力を養う。 ①②③④	比例と反比例の関係を理解し、具体的な場面で比例と反比例の性質や関係性を活用することができる力を養う。 ①②③④	比例と反比例の関係を理解し、具体的な場面で比例と反比例の性質や関係性を活用することができる力を養う。 ①②③④	
☆平面図形 19	基本的な作図の方法や移動について理解し、図形の性質に着目して作図の方法や図形の関係を考察したりすることができる力を養う。	平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 角の二等分線、線分の垂直二等分線、重線などの基本的な作図の方法を理解している。 おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 ①②③④	図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。 ①②③④	平面図形の性質や関係性を捉えること、必要性と意味を考えた上で、平面図形について学習したことを生活や学習に生かそうとしている。 ②③④	平面図形の性質や関係性を捉えること、必要性と意味を考えた上で、平面図形について学習したことを生活や学習に生かそうとしている。 ②③④	
☆空間図形 20	空間における直線や平面の位置関係、面や基本的な立体、柱体、球の体積、表面積について理解し、平面図形をもとに空間図形の性質を考察し、表現することができる力を養う。	空間における直線や平面の位置関係を理解している。 立方体、球の体積や表面積を求めることができる。 ①②③④	空間図形の性質や関係性を捉えること、必要性と意味を考えた上で、空間図形について学習したことを生活や学習に生かそうとしている。 ②③④	空間図形の性質や関係性を捉えること、必要性と意味を考えた上で、空間図形について学習したことを生活や学習に生かそうとしている。 ②③④	空間図形の性質や関係性を捉えること、必要性と意味を考えた上で、空間図形について学習したことを生活や学習に生かそうとしている。 ②③④	
☆データの分析と活用 11	ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解し、目的に応じてデータを収集して分析し、データの分布の傾向を踏まえて考察し判断することができる力を養う。	ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解している。 集積度数、累積相対度数の必要性と意味を理解している。 コンドレータなどの情報手段を用いるなどして、データを数やグラフに整理することができる。 ①②③④	目的に応じてデータを収集して分析し、データの分布の傾向を踏まえて考察し表現することができる。 ①②③④	ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えた上で、ヒストグラムや相対度数について学習したことを生活や学習に生かそうとしている。 ②③④	ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えた上で、ヒストグラムや相対度数について学習したことを生活や学習に生かそうとしている。 ②③④	

主な評価方法

- ①テスト(定期考査、単元テスト、小テスト)
- ②学習姿勢(取り組み態度、話し合い活動への取り組み)

授業の取組について

- ノートやプリントをもつかり書きましょう。単元まとめレポートに役立つ。
- 授業内では自分ができることを最大限やりましょう。
- ノートや教科書を毎日見直し、自分で調べようようにしましょう。
- 協力して課題に取り組みときは、積極的に関わり合い、教わつたりしましょう。

定期テスト前の取り組みについて

- 教科書やノート、授業プリントを見直しましょう。
- 試験範囲の問題集はすべて取り組み、解き直しましょう。
- 数学が苦手な方は、「解き方」を理解して解けるようにしましょう。
- 教科書の章の問題、章末問題などにも挑戦しましょう。

家庭学習の進め方について

- 授業で学習した内容の問題集をすませましょう。
- 問題集をコンテック進めよう。
- 分からない問題は、そのままとせず、教科書やノートを見直し、友達や先生に聞いて、わからぬまま先に進まないようにしましょう。



第7学年 理科年間指導計画及び評価 年間合計時数(105)

教 科 目 標		趣 旨		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
自然の事象・現象に関わり、理科の奥行きを備え、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (1)自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事象・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		自然の事象・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。		自然の事象・現象から問題を思い出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、整理するなど、科学的に探究している。		自然の事象・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。		自然の事象・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。	
単元名 時間数	単元目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
☆生物の観察と分類の仕方 11	生物を観察するための観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身に付ける基礎を身に付ける。	○生物の観察、生物の特徴と分類の仕方についての本来的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○生物の観察と分類のしかたについて、観察、実験などを通して、生物を分類するための観点を整理し、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○生物の観察と分類の仕方について、生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆生物の体の共通点と相違点 12	身近な生物や動物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点を理解する。	○植物の体の共通点と相違点、動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○生物の体の共通点と相違点について、観察、実験などを通して、生物を分類するための観点を整理し、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○生物の体の共通点と相違点に関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆物質のすがた 12	身の回りの物質の性質を調べ、実験を行い、実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身に付けるとともに、物質固有の性質を理解する。	○身の回りの物質とその性質、気体の発生と性質についての基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○物質のすがたについての観察、実験などを通して、物質の性質やその変化における規則性を見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○物質のすがたに関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆水溶液 9	物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を、粒子的モデルで理解するとともに、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。	○水溶液についての基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○水溶液についての観察、実験などを通して、物質の性質やその変化における規則性を見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○水溶液に関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆状態変化 9	物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。	○状態変化に関する基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○状態変化についての観察、実験などを通して、物質の性質や状態変化における規則性を見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○状態変化に関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆光と音 14	光や音に関する実験を行い、それらの固有の性質を理解する。	○光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質についての基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○光や音についての観察、実験などを通して、光や音の性質における規則性や関係性を見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○光や音に関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆力の働き 11	物体に力をはたらかせると実験を行い、物体の形状や運動の変化の特徴を理解する。	○力の働きについての基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○力の働きについての観察、実験などを通して、力のはたらきの影響や関係性を見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○力の働きに関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆身近な地形や地層、岩石の観察 10	大地の成り立ちや岩石の特徴を理解する。	○身近な地形や地層、岩石の観察についての本来的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○地形や地層、岩石についての観察、実験などを通して、地層の重なり方や谷がり方の規則性などを見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○身近な地形や地層、岩石の観察に関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆火山と地震 10	さまざまな火山の活動などを調べることを通して、マグマからできる岩石の特徴や、成因と関連づけて理解する。	○火山活動と火成岩、地震の成り立ちや地殻内部の働きについての基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○火山と地震についての観察、実験などを通して、地層の重なり方や火山活動や地震発生のおよぼす影響などを見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○火山と地震に関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					
☆自然の恵みと自然災害 7	さまざまな自然災害を知ること、今後の対応や危険について考えを深めることができる。	○自然の恵みと火山災害・地震災害に関する基本的な概念や原理・法則を理解している。②④ ○科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。②④	○自然の恵みと火山災害・地震災害について、観察、実験などを通して、火山活動や地震発生のおよぼす影響などを見いだすなど、科学的に探究している。②④ ○基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決することができる。②④	○自然の恵みと火山災害・地震災害に関する生物・現象に連んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。①②③					

主な評価方法  
①学習に向かう態度【取り組み態度等】  
②パフォーマンス【レポート、実験操作等】  
③提出物【ワークブック、ワークシート等】  
④ペーパーテスト【単元テスト、定期考査等】

ア	授業の取組について	定期テスト前の取り組みについて	家庭学習の進め方について
ド	○集中して、授業を聞き、授業内で理解するように心がけよう。 ○実験・観察等は、積極的に、仲間と協力して取り組むようにしよう。 ○授業の中に、分からなかったことや疑問に思ったことは、チェックをしておきましょう。	○ノートなどをめやす場合は、定期テスト1週間前までに行いましょう。 ○定期テスト1週間前からは、問題演習をすることを心がけよう。 ○教科書を読み直し、内容を自分で説明できるようにしよう。	○週末に1回は復習の時間をとり、その週に何を学習したのか把握できるようにしよう。 ○問題演習をすることで、「自分ができる・理解しているもの」と「できない・理解していないもの」を整理するようにしよう。 ○タブレット端末を活用した学習に取り組まよう。
バ			
イ			
ス			

第7学年 社会科学年間指導計画及び評価

年間合計時数 (105)

教科目標	題 旨		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	単元名	単元目標	知識・技能	思考・判断・表現	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次々と育成することを旨とする。</p> <p>(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関する理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)社会的現象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)社会的現象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。</p>	分野	単元名	単元目標	知識・技能	思考・判断・表現	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	歴史	歴史へのとびら 6 地域の歴史を調べよう 6	よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。 身近な地域の歴史に関する情報を、年表などに整理する活動を通してその特徴を考察し、表現する。	年代の表し方や、時代区分の意味や意義の基本的な内容を理解している。①②③④ 調査して収集した課題に関する情報を、年表などに適切にまとめている。①②③④	文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。①②③④	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的・相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりしている。(地理的分野) ○我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。(歴史的分野)	○日本や世界の地域に関する諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(地理的分野) ○歴史に関する諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(歴史的分野)	
	1 学期	☆世界の姿 5 日本の姿 5 アジア州 8	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。(国際理解教育) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し、理解する。 アジア州に暮らす人々の生活を基に、アジア州の地域的特色を大観し、理解する。	世界の六つの州と主な国の位置と名称を理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。①②③④ 日本の領域と領土をめぐる問題を理解したり、日本と各地との時差を計算し、時刻を求めたりすることができる。①②③④ 地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の特色を理解している。①②③④	身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。①②③④ さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。①②③④ 世界の中での日本の位置や広がりについて、多面的・多角的に考察している。①②③④ 人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、アジア州の地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現している。①②③④	身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。①②③④ 古来までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。①②③④ 国どうしや他地域との結び付きに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。①②③④	○地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的・相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりしている。(地理的分野) ○歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりしている。(歴史的分野)	○日本や世界の地域に関する諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(地理的分野) ○歴史に関する諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(歴史的分野)
	2 学期	古代までの日本 19 ヨーロッパ州 8 アフリカ州 6 北アメリカ州 7 南アメリカ州 6 中世の日本 15 オセアニア州 5	ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、理解する。 東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。(国際理解教育) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、理解する。 アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、アフリカ州の地域的特色を大観し、理解する。 北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し、理解する。 南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、南アメリカ州の地域的特色を大観し、理解する。	ヨーロッパ州の地域的特色を、自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、ヨーロッパの共通性と多様性を理解している。①②③④ アフリカ州の人々の生活や産業の特色を、資料を用いながら、歴史的背景を踏まえて理解している。①②③④ 民族の多様性や、広大な国土を利用して農業、変化し続ける工業について理解している。①②③④ 南アメリカ州の発展の一方で、経済格差や環境破壊などの問題が生じていること、資料から調べ、まとめている。①②③④ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。	ヨーロッパ州の地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関する課題を主体的に追究しようとしている。①⑤⑥ ヨーロッパ諸国との関係やモナコやチャールズ経済などに着目し、課題の解決を主体的に追究しようとしている。①⑤⑥ 北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関する課題を主体的に追究しようとしている。①⑤⑥ 南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。①⑤⑥ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。①⑤⑥ オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりが深め、多文化社会を進めている理由や、そこで生じた課題を多面的・多角的に考察している。①②③④	古来までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。①②③④ 国どうしや他地域との結び付きに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。①②③④ 輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察している。①②③④ 北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。①②③④ 熱帯林の減少について、諸資料から読み取った事柄を関連付け、その解決策を多面的・多角的に考察している。①②③④ 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。①②③④ オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりが深め、多文化社会を進めている理由や、そこで生じた課題を多面的・多角的に考察している。①②③④	○我が国の国土及び世界の諸地域に関する課題を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的・相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりしている。(地理的分野) ○我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。(歴史的分野)	○日本や世界の地域に関する諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(地理的分野) ○歴史に関する諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(歴史的分野)
	3 学期	主な評価方法 ①ペーパーテスト【小テスト・中間考査・期末考査】 ②単元ごとのまとめ ③授業内で出題する課題 ④ノート【学習課題に対するまとめ】 ⑤提出物 ⑥学習姿勢【授業内での学びに対する振り返り、取り組み、自主学習】	オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、オセアニア州の地域的特色を大観し、理解する。(国際理解教育)	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりが深め、多文化社会を進めている理由や、そこで生じた課題を多面的・多角的に考察している。①②③④	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりが深め、多文化社会を進めている理由や、そこで生じた課題を多面的・多角的に考察している。①②③④	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりが深め、多文化社会を進めている理由や、そこで生じた課題を多面的・多角的に考察している。①②③④	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりが深め、多文化社会を進めている理由や、そこで生じた課題を多面的・多角的に考察している。①②③④	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりが深め、多文化社会を進めている理由や、そこで生じた課題を多面的・多角的に考察している。①②③④
	アドバイス	授業の取組について	定期テスト前の取り組みについて	家庭学習の進め方について	定期テスト前の取り組みについて	定期テスト前の取り組みについて	定期テスト前の取り組みについて	定期テスト前の取り組みについて
			ノート(授業用、自主学習用)づくりを大切に取組んでください。 ・授業内での学習課題等に積極的に取り組みましょう。	ワーク、問題集、ノート、資料集、ワーク、用語集等での復習を大切にしてください。	ワーク、問題集、自主学習ノートを中心に進めましょう。 ・定期テスト前に一気に学習するのはなく、毎日短時間でも机に向かい、家庭学習の習慣を身に付けられるようにしましょう。	ワーク、問題集、自主学習ノートを中心に進めましょう。 ・定期テスト前に一気に学習するのはなく、毎日短時間でも机に向かい、家庭学習の習慣を身に付けられるようにしましょう。	ワーク、問題集、自主学習ノートを中心に進めましょう。 ・定期テスト前に一気に学習するのはなく、毎日短時間でも机に向かい、家庭学習の習慣を身に付けられるようにしましょう。	ワーク、問題集、自主学習ノートを中心に進めましょう。 ・定期テスト前に一気に学習するのはなく、毎日短時間でも机に向かい、家庭学習の習慣を身に付けられるようにしましょう。

第7学年 音楽科年間指導計画及び評価

年間合計時数(46時間)

教科目標	趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	<p><b>題材名</b></p> <p>歌唱表現を工夫しよう 「校歌」「港区歌」(4)</p> <p>イメージをもたらず音楽の秘密を探ろう 「ジョーズのテーマ」(2)</p> <p>☆音楽の特徴に注目し、情景を思い浮かべよう 「春」(2)</p> <p>曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう アルトリコーダー(6)</p> <p>曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 合唱曲(7)</p> <p>☆曲想と音楽の構造との関わりを理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>箏の魅力を味わおう 「さくらさくら」(4) 「六段の調」(4)</p> <p>曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 合唱曲(5)</p> <p>☆日本に古くから伝わる合奏に親しもう 雅楽「越天楽」(3)</p> <p>☆日本の民謡の魅力を味わおう (2)</p> <p>曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう アルトリコーダー(3)</p> <p>曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 合唱曲(5)</p>	<p>【知】曲想と音楽の構造などについて理解している。 【技】発声などの技能を身に付けて、歌唱で表わしている。①③④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ①③⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して演奏する。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>【知】楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】箏の奏法を身に付けて、演奏している。①③④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】他者と合わせて演奏する技能を身に付けて、歌唱で表わしている。①④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p> <p>雅楽の背景となる文化や歴史について理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>民謡の意味や役割と、曲に対する評価とその根拠について考え、民謡のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の間を繋ぐ要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのよかに表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p> <p>どのよかに歌唱表現をするかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。①②③</p> <p>曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。①②③</p> <p>どのよかに演奏するかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>どのよかに歌唱表現をするかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。①②③</p> <p>どのよかに演奏するかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解している。 【技】他者と合わせて演奏する技能を身に付けて、歌唱で表わしている。①④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p> <p>雅楽の背景となる文化や歴史について理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>民謡の意味や役割と、曲に対する評価とその根拠について考え、民謡のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p>
<b>評価規準 (評価方法)</b>				
<p><b>題材名</b></p> <p>時間数</p> <p>歌唱表現を工夫しよう 「校歌」「港区歌」(4)</p> <p>イメージをもたらず音楽の秘密を探ろう 「ジョーズのテーマ」(2)</p> <p>☆音楽の特徴に注目し、情景を思い浮かべよう 「春」(2)</p> <p>曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう アルトリコーダー(6)</p> <p>曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 合唱曲(7)</p> <p>☆曲想と音楽の構造との関わりを理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>箏の魅力を味わおう 「さくらさくら」(4) 「六段の調」(4)</p> <p>曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 合唱曲(5)</p> <p>☆日本に古くから伝わる合奏に親しもう 雅楽「越天楽」(3)</p> <p>☆日本の民謡の魅力を味わおう (2)</p> <p>曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう アルトリコーダー(3)</p> <p>曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 合唱曲(5)</p>	<p><b>知識・技能</b></p> <p>【知】歌詞の内容を理解している。 【技】発声などの技能を身に付けて、歌唱で表わしている。①③④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ①③⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して演奏する。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>【知】楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】箏の奏法を身に付けて、演奏している。①③④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】他者と合わせて演奏する技能を身に付けて、歌唱で表わしている。①④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p> <p>雅楽の背景となる文化や歴史について理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>民謡の意味や役割と、曲に対する評価とその根拠について考え、民謡のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p>	<p><b>思考・判断・表現</b></p> <p>どのよかに歌唱表現をするかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。①②③</p> <p>曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。①②③</p> <p>どのよかに演奏するかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>どのよかに歌唱表現をするかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。①②③</p> <p>どのよかに演奏するかについて思いや意図をもっている。①②③④</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解している。 【技】他者と合わせて演奏する技能を身に付けて、歌唱で表わしている。①④⑤</p> <p>【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p> <p>雅楽の背景となる文化や歴史について理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>民謡の意味や役割と、曲に対する評価とその根拠について考え、民謡のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容について理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。</p>	<p><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p> <p>活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。①②③④</p>	
<b>主な評価方法</b>				
<p>①学習姿勢【取り組み態度・活動の様子】の観察</p> <p>②話し合い活動【活動の様子】の観察</p>				
<b>アドバイス</b>		<p><b>定期テスト前の取り組みについて</b></p> <p>ワークシートを見直ししよう。 プリントの穴埋めは特に重要な部分ですので、確実に覚えよう。 ましよう。</p>	<p><b>家庭学習の進め方について</b></p> <p>・栗枝テスト(歌唱)は、暗譜で行います。歌詞は、何度も歌って覚えよう。 ・いろいろな音楽をたくさん聴きよう。 ・授業後に授業プリントを振り返るようにしよう。</p>	



第7学年 美術科年間指導計画及び評価

年間合計時数 (46)

教科目標	趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる賞賛・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組む創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げている。	主体的に学習に取り組むことのできる。①②	
単元名 時間数	単元目標	評価規準 (評価方法)		
オリエンテーション 1	学習上の心構え、持ち物等を確認する。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「グレースケールと鉛筆素描」 4	対象物の形・明暗・陰影・材質感の表し方を習得する。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	「レタリング」 5 ☆「様々なポスター」 ポスターのアイデアスケッチ 1	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2 学期	「交通安全ポスターの制作」(夏季休暇課題) + 鑑賞 1	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「絵文字」 8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	色彩について 「十二色相環をつくる」 「オリジナルの色彩見本の作成」 6	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 学期	「一版多色木版画～色鉛筆画をもとに」 色鉛筆画、木版画の基礎技法 11	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「単位形による平面構成」 10	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

主な評価方法

- ①授業への取り組み方
- ②アイデアスケッチ、小作品、ワークシート
- ③制作の過程

- ④作品
- ⑤小テスト、期末考査

アドバイス	授業の取組について	定期テスト前の取り組みについて	家庭学習の進め方について
授業に集中して先生の説明をしっかり聞きましょう。 ・毎回、自分の進み具合に応じた持ち物の確認をして、忘れ物がないようにしましょう。 ・準備を手早く済ませ、制作の時間を確保しましょう。 ・全員が集中して作業できるように静かに行動しましょう。 ・テキパキと行動し、まわりを気づかって、きちんと片付けましょう。	授業で説明されたことをしっかりと復習しましょう。 ・実技テストは、前もって練習しておきましょう。 ・テスト範囲でわからないことや質問がある場合は、早めに先生に聞きに行きましょう。	授業で説明されたことをしっかりと復習しましょう。 ・実技テストは、前もって練習しておきましょう。 ・テスト範囲でわからないことや質問がある場合は、早めに先生に聞きに行きましょう。	美術は、いつでもアイデアや題材を発見するチャンスがあります。美しいな、いいな、と感じたらすぐにメモやスケッチを取っておくと制作のヒントになります。 ・描写力は、練習によって上達していきます。日ごろから短時間(5分でも)でよいので、集中して、よく観察して描くことをおすすめします。

趣旨		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会の構築する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>(2)生活や社会、環境の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		生活や社会で利用されている技術について理解している。また、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
単元目標		評価規準（評価方法）		
単元名 時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
生活や社会を支える材料と加工の技術 8	材料や加工の特性等の原理・法則と基礎的な技術の仕組みについて理解し、技術に込められた問題解決の工夫について考えることができるようになる。	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的に材料の加工の技術について考え、理解しようとしている。	
1 学期 金属加工による作品製作 4	安全・適切な製作、検査・点検等について理解し、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができるようになる。	安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。		
2 学期 製作品の構想と設計 4	製作に必要な図について理解し、問題の発見と課題の設定、成形の方法などの構想と設計の具体化について考えることができるようになる。	製作に必要な図面を書く技能を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとしている。	
3 学期 木材加工による作品製作 15	安全・適切な製作、検査・点検等について理解し、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができるようになる。	安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。		
3 学期 社会の発展と材料加工の技術 4	生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念について理解し、技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用について考えることができるようになる。	材料と加工を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	
<p>主な評価方法</p> <p>①学習に向かう態度【授業内での目標設定、取り組み、反省、発表等】</p> <p>②パフォーマンス【実技・製作物】</p> <p>③提出物【技術ノート、課題スライド等】</p> <p>④ペーパーテスト【小テスト、定期考査等】</p>				
授業の取組について		家庭学習の進め方について		
アドバイス	<p>○集中して、授業を聞き、授業内で理解できるように心がけましょう。</p> <p>○製作は、作業工程を確認し、自分の設定した目標に向けて取り組み、毎時の振り返りを行いましょう。</p> <p>○授業の中に、分からなかったことや疑問に思ったことは、チャットをしておきましょう。</p>	<p>定期テスト前の取り組みについて</p> <p>○教科書やワークシート等を活用してこれまでの学習を振り返りましょう。</p> <p>○単純な知識理解を問う問題以外にも、応用力を問う問題も出題します。授業で学習した内容について、日常生活と結び付けて考える準備をしておきましょう。</p> <p>○教科書を読み直し、内容を自分で説明できるようにしましょう。</p>	<p>家庭学習の進め方について</p> <p>○教科書やワークシート、技術家庭ノートを振り返り学習を積み重ねましょう。</p> <p>○教科書単体で学習を進めようとするのではなく、他の教科との関連性に着目して理解するように心掛けることで、深い学びを表現できるようにしましょう。</p>	

趣旨		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
単元 時間数	単元目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期				
1	衣服の働き 2	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用に理解している。①②⑤	衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決する工夫をしている。①②③	衣服の選択や日常着の手入れの仕方について課題の解決に主体的に取り組むようとしている。①②③
	日本の衣文化1	和服と洋服の構成や着方の違いについて理解できる。①②⑤		生活の中にある日本の伝統的な文様を探し出し文様の名前や意味を調べ、理解しようとしている。①②③
	衣服計画 2	必要に応じた購入方法を考え、表示を読み取り、適切に選択できる。①②⑤	既製服表示を理解し目的に応じた衣服の購入について考え、工夫している。①②③	
	衣服の手入れ 2	衣服の状態の応じた日常着の補修の仕方について理解しているとともに、適切にできる。①②⑤		よりよい衣生活の実現に向けて衣服の選択、日常着の手入れの仕方について実践しようとしている。①②③
	☆衣服製作 10	製作に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方について理解できる。		製作計画や製作について工夫し創造し、実践しようとしている。①②③④
2 学期				
	持続可能な衣生活 1	持続可能な衣生活を指して課題とその解決方法を考え、衣生活を工夫できる。	健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題解決を論理的に表現している。①②⑤	
	住まいの役割 2	住まいの基本的な役割と家族の生活と住空間の関わりについて理解できる。		
	日本の住まい 2	日本の住まいの特徴や住まいと気候風土の関わりについて理解できる。		日本の伝統的な住まいから現代に取り入れられている特徴を調べ、生活を工夫し創造し実践しようとしている。①②③
	住まいの安全 2	家庭内事故の危険性について理解し、家庭内事故の予防や対策を考え、家族が安全に暮らせるように工夫できる。	我が家や学校などの危険個所を探し出し問題を発見して解決する工夫をしている。①②③⑤	
	災害への対策 3	自分が住む地域の災害の危険性について理解できる。地震など災害への備えについて考え、対策を工夫できる。	我が家の防災対策の中から問題を見いだし課題を設定し、課題を論理的に解決する力を身に付けている。①②③⑤	
	持続可能な食生活を指して 1	持続可能な食生活を指して課題とその解決方法を考え、食生活を工夫できる。	健康で文化的な食生活を送るための問題を見いだして課題解決を論理的に表現している①②⑤	
3 学期				
	私たちの消費生活 3	契約について理解できる。		未成年の契約について理解を深め生活に取り入れ実践しようとしている。①②⑤
	消費者トラブルとその対策 3	消費者トラブルにその対応策について理解できる。		悪質商法などを調べ、理解し、未然に防ぐ工夫をしようとしている。①②③④⑤
	持続可能な住生活を指して 2	持続可能な住生活を指して課題とその解決方法を考え、住生活を工夫できる。	健康・快適で持続可能な住生活を送るための課題解決を論理的に表現している。①②⑤	
<p>主な評価方法                      ①学習姿勢                      ②技術家庭ノートの記事及び提出                      ③作品の進捗と進捗表の記録</p>				
アドバイス		定期テスト前の取り組みについて 教科書と技術家庭ノートを用いてまとめ直し、見直しながら勉強しよう。	家庭学習の進め方について 宿題や調べ学習を中心にしよう。指示に従って提出に備えて準備しよう。	